

1038

163



武功調査

第六艦隊機密第二三號ノ四七

昭和十七年五月十五日

先遣部隊戦闘詳報 第四號

第六艦隊司令部



先遣部隊戦闘詳報第四號

第一

二月一日「マーシャル」群島方面ニ來襲セル敵（A）機動部隊ニ對スル作戦

二月一日敵機動部隊來襲ノ際「クニジエリン」在泊中ノ第一潜水部隊ハイ9イ23イ15イ17イ19イ26「ヲシテ當時敵ハ「ウオツゼ」附近ニ在リトノ情報ニ基キ同方面ニ向ヒ索敵攻撃ヲ命ジ同隊ハ〇六一〇敵機群退時迄鐘泊沈坐中ナリシガ之ヲ浮上直チニ配備ニ就カシメ「ウオツゼ」東方海面ヲ搜索セシモ敵情ヲ得ズ

二日〇六一五更ニ布陸方面ニ向ヒ掃航スベク下令セルモ其ノ後敵情ニ關シ得ル處ナク依然追跡ヲ繼續スルハ他ノ作戦ニ影響アルヲ以テニ對シテハ三日〇八〇〇ニ至テ左ノ如ク行動スベキヲ下令ス  
(イ) 158Bニ對シテハ三日〇八〇〇ニ至テ左ノ如ク行動スベキヲ下令ス  
(ロ) 125イ115イ119イ126ハ五日朝迄ニPQニ歸投ヘキ作戦準備ノ爲メ  
(ハ) ハ濠洲、新西貢指定地點ノ偵察有力艦船ニ對スル奇襲ニ任ゼシ

(ハ) 爾餘ノ艦ハ現行動ヲ續行A方面ニ進セバBB電令作第三六號ニ依リ行動セシム

但シ17123中ノ一艦ニ命ジアリタルAG A 攻略資料ノ調査及同島ノ砲撃ヲ取止ム

一方ニ對シテハ左記下令

(イ) 169 358B 4日中ニ敵情ヲ得ザレバA方面任務ニ復歸シ十二日現地發歸

投スベシ

(ロ) 205g 4日中ニ西一八〇度ヨリ同點ノ南一四〇度ノ間ハ散開

線ニ就キ敵機動部隊ノ歸路ヲ邀撃特令ナケレバ九日歸途ニ就ケ

送上一部潜水艦ヲシテAGノ攻略資料ノ調査及同島ノ砲撃ヲ實施セ

シムベシ

二、斯クシテ敵機動部隊ニ對シ索敵ヲ續行セシモ遂ニ發見スルニ至ラズ

19 117 123 二對シテハ二月九日以後既令(BB)電令作第三六號)ニ依リ行

動豫定ノ配備ニ向ハシム

三、二月八日〇一〇〇第六通信隊ヨリ敵機動部隊ノ電話ト推定セララル

電波ノ測定方位ニ關スル情報アリ次テ同日一一三〇4P參謀長ヨリ右

ニ對スル判斷トシテ敵ハ概ネ六〇〇運以內ト認メラルルニ付「マ

シヤル」諸島方面防備部隊及所在航空部隊ハ警戒ヲ嚴ニスルノ要ア

リトノ報ニ接ス

當夜香取ニ於テモ「*One O'clock south east*」及「*Go ahead*」等ノ片言ヲ極メテ高感

度ニテ豫取セルヲ以テ明朝特ニ警戒ヲ嚴ニスル要アルヲ認メ之ヲ「

マシヤル」方面所在部隊ニ通報スルト共ニ警戒ヲ嚴ニセリ

翌九日敵襲ナカリシモ依然敵信狀況ヨリ敵ハ一部隊ヲ以テ尙「マ

シヤル」方面ニ機動スルヤノ疑アリト認メ二月九日歸航ノ途ニアル

169 及 20 Sg 本洲東方ニ至ル海面ヲモ索敵セシメタリ

但シ本行動ニ於テモ何等敵情ニ關シ得ル所ナカリキ

四、敵機動部隊「マシヤル」方面空襲ノ翌二日桑港放送局ハ左ノ通之

ヨリ

ガ發表ヲ行ヒタルガ之ヲ番取ニテ聽取セルヲ以テ關係各部ニ通知セ

「米國海軍省發表ニ依レバ米國軍艦及航空機ハ「マーシャル」及「ギルバート」諸島ニ於ケル敵ノ海軍根據地及飛行場五ヶ所ニ奇襲ヲ行ヒ敵ノ補助船舶數隻ヲ擊沈又ハ損害ヲ與ヘ敵ノ飛行機ヲ空中及地上ニ於テ破壊シ軍需施設ニ損害ヲ與ヘタリ是等ハ航空魚雷爆彈又ハ機銃ニ依リ行ハレタルモノナリ米國軍艦二隻ハ爆彈ニ依リ微少ノ損害ヲ受ケ飛行機十一機未歸還是等ノ諸島ハ米國ヨリ濠洲及蘭印ニ通ズル主要航路ニアル諸島ナリ」

第一 自一月下旬 至三月上旬 布哇方面ノ作戰

一、癸ニ一月中旬「レキシントン」ヲ含ム敵機動部隊搜索攻撃ノ爲「クエジエリン」基地ヲ發進セル中「3SsB」ハ一月二十三日夜「2OSg」島ノ南方海面ニ配備ニ就キ監視中ナリシガ

*Thilan*

於テ西航中ノ大型給油船一隻ヲ擊沈シ其後同艦ハ二月三日黎明前 AI  
 ノ SW 七〇哩ニ於テ南西方ニ高速航行スル敵巡洋艦ヲシキモノ一隻ヲ  
 認メタル外得ル所ナシ

二、EB 電令作第三六號ヲ以テ 20Sg ハ二月十一日眞珠港監視配備ヲ撤スル様  
 指令シアリタルモ二月一日敵機動部隊「マーシャル」方面ノ空襲ヲ  
 行ヒ之ガ歸途ヲ邀撃スベク前述ノ如ク四日L 散開線ニ就カシメ九日  
 歸途ニ就カシム

三、173 20Sg (ハ一月十五日布哇監視配備ニ進出ノ途上部下 Sg ニ航路ニ  
 關スル司令ノ指令ヲ發電セル以後消息杜絶爾來遂ニ手掛リナク一  
 月二十七日附沈没ト認定スルニ至レリ

四、123 20Sg ニ代リ布哇方面ノ監視ニ任ジ續イテK 作戦(後述)ノ所定  
 任務ヲ續行此ノ間 19 ハ眞珠港ノ飛行偵察ヲ行ヒ左ノ報告ヲナセリ

(1) 19 島西側ニテ飛行機發進一六四〇眞珠港偵察ヲ實施セリ  
 (2) 眞珠港南側ヨリ進入ノ際「ヒツカム」飛行場東端上空ニ於テ  
*Fort Weaver*

ヨリ照射ヲ受ク(當時高度一三〇〇米)又附近燈火ニ依リ眩惑及  
月明ノ關係上港内在泊艦ヲ確認スルニ至ラズ

敵ノ照射ハ迅速ニテ二回目確實ニ實施サレタリ

(ハ) 南海岸三箇所燈火ヲ認ム

海軍工廠面作業燈アリ約二〇湮ヨリ視認シ得 *Barbers p.t.* 及 *Ford* 間ニ三個

ノ顯著ナル燈火アリ *Ford* 島ハ周邊ニ燈火點在シ略其餘廓ヲ認ム其他

各島嶼燈火管制シ在リ

(ニ) 本日 *Quila* 附近快晴風向四〇度風速一二米波高一米 *Honai* ヨリ *Oahu* 二〇湮沖

迄密雲多ク雲高八〇〇米 *Oahu* 島上空及附近快晴

(ハ) 飛行機收容ノ際翼破損使用不可能ナリ

五 123 二月二十四日二三三〇六通ヨリノ最近電全部了解セル旨ノ事務

信ヲ發シタル以後無線連絡杜絶シアリ從來ノ經過ニ徴シ沈没セル疑

極メテ濃厚ナリ

第三 要地ノ偵察並ニ攻撃

一月八日BB電令作第二六ヲ以テ  
 方面ニ一隻 *Seattle* 方面ニ二隻 *3SSB* (168) ノ潜水艦ニ對シテハ  
 七日BB電令作第三六號ヲ以テ *Abaton* ニ對シ二月二日以後準備出來次第  
 エジエリン」基地發濠洲、新西蘭方面ニ行動シ要地 (1)  
 (4) *Auckland* (5) *Hobart* ノ隱密偵察並ニ有力艦船ニ對スル奇襲ニ任ズル如ク指令  
 シアリタル處各方面共支障ナク左ノ通概ネ願當ニ實施セラレタリ  
 一、「ミツドウエイ」

169 十一月下旬以降「ミツドウエイ」監視偵察哨戒ニ任ジ二月九日及  
 十一日陸上軍事施設ノ砲撃ヲ實施シ爾後「クエジエリン」ニ向ケ歸  
 途ニ就ケリ

十三日〇五〇〇右ニ關スル *12Sg* 司令ノ報告

(イ) AF 方面敵情

監視期間ヲ通シ確認セシ敵ハ哨戒艇一回一隻飛行機四回五機武装



裝商船一隻（伊二四潛既報告在泊中ノモノ）ニシテ右以外及在泊  
艦船ヲ認メズ

艦艇ヲ以テスル警戒ノ殆下見ルベキモノナキモ陸上ニ多數起重機  
見ユ施設擴充中ナルモノノ如シ、陸上砲撃以來飛行機ニ依ル哨戒  
及薄暮時ノ警戒ハ相當嚴重トナラン

陸上ニハ多數ノ起重機見エ施設尙擴充中ナルモノノ如シ

(四) 伊六九潛敵陸上施設砲撃狀況

第一回九日發射彈數三發ニシテ視界不良ノ爲觀測不能反撃ナシ

第二回十一日發射彈數二發敵戰鬪機二機ノ急襲ヲ受ケ急速潛航兩

日共薄暮時南方ヨリ實施効果不明敵機ハ爆彈四個ヲ投下セシモ命

中セズ破損個所ナキモ前部七、八番「メインタンク」(滿載中)

ノ少量漏油ヲ認ム、爆撃ノ衝擊ニ依ル疑アリ

(六) 十二日〇〇〇〇燃料殘額四割情況變化ヲケレバ十七日午前「クエ

ジエリン」着ノ豫定

二、Seattle San-Francisco 方面

一月二十一日 BB 電令作第三四號ヲ以テ左記發令

「18 AKノ飛行偵察ヲ取止メ A 西岸ニ直航桑港ノ飛行偵察ヲ實施シ

タル上豫定ノ如ク行動概ネ三月二日横須賀ニ歸着スベシ」

右ニ基キ 18 (SB 司令官旗艦)ハ二月上旬 A 西岸 San Francisco ヨリ Seattle ニ至ル

海面ニ行動 San Francisco ノ飛行偵察ヲ企圖セルモ海上連續荒模様ニテ飛行機

ノ發進作業ニ道セズ之ヲ實施スルニ至ラズ

San Francisco ハ燈火管制ヲ實施シアラズ二月三日 San Francisco 沖ニテ同港ニ向フ輸送

船隊(驅逐艦三、輸送船七)ヲ發見セルモ攻撃ノ機會ヲ得ズ 同港

ノ二五〇度三〇哩附近ニ敵哨戒機及警戒艦ヲ認メタル外本行動中敵

影ヲ見ズ九日 A 西岸發歸途ニ就ケリ

三、Albaton 方面

11SG ハ一月下旬ヨリ二月上旬迄 Albaton 方面要地偵察並ニ哨戒ニ當リタル

ガ一月二十九日 174 ガ Unimak 島ノ南方ニテ敵大型潜水艦一隻ヲ認メタル

外敵ヲ見ズ敵警戒状況無線受等ヲ綜合シ同方面ニ敵有力部隊存在ノ徵候ヲ認メズ

四、濠洲、新西蘭方面

二月一日「マーシャル」方面ニ來襲セル敵機動部隊ニ對シ既述ノ通<sup>1SsB</sup>ヲ出撃セシメタルモ<sup>125</sup>ハ濠洲新西蘭方面ノ偵察ノ爲三日〇八〇〇以後索敵ヲ打切り本任務ニ復セシム

<sup>125</sup>ハ當時搭載機ヲ「クエジエリン」十九空ニ發シ急據出動セル關係上之ヲ容收ノ上作戰地ニ發射セリ

(1) 二月十七日〇四〇〇 *Sydney* 飛行偵察ヲ行ヒ左ノ報告ヲナセリ

(1) 在泊艦船「オーストラリア」型大巡一隻驅逐艦一隻潛水艦二隻

商船七〇〇噸級二隻一〇〇噸級商船一五隻

(2) 灣口ハ防材ヲ設置シ哨戒艦二隻ニテ警戒シアアル外探照燈四ニテ

終夜照射シアリ

(3) *Sydney*  
*Howe Castle*  
間距岸一〇溼ヲ三〇〇噸級乃至七〇〇噸級商船七

隻航行中

(ロ) 次 二月二十六日 〇五〇〇

(1) 大型巡洋艦一隻 輕巡五隻

モノ一隻 同地發函航ス

*Phillip Harbour*

飛行偵察ヲ行ヒ左ノ報告ヲナセリ  
灣口ヲ港内ニ向ケ航海中輕巡ヲシキ

(2) 七〇〇噸級乃至一〇〇〇噸級商船三隻

*Phillip* ニ向ヒツツアリ

泊中

(3) 大型油槽船三隻 二〇〇〇噸級乃至四〇〇〇噸級商船九隻

*Phillip* 在

(4) 西方ニ陸上飛行場アリ 大型飛行機三機 格納庫一 兵舎三 見ユ

(5) *Port Phillip* 灣内敵ヲ見ズ

(6) 附近一帯燈火管制ヲ行ハズ 燈臺ハ點燈シアリ

(ハ) 三月一日晝間

*Ladace Hobart*

飛行偵察ヲ實施ス

(1) 在泊艦ナシ

(2) 中型商船五隻 碇泊中

(3) 市ノ北東方ニ飛行場アルモ格納庫飛行機ヲ認メズ

- (4) 燈火管制ヲ爲シアラザルモ燈臺ハ消燈シアリ
- (二) 三月七日夜左ノ電ニ接ス
- (1) 三月一日 飛行偵察ニ際シ翼ヲ毀損セルニ付假修理ノ上三月七日 飛行偵察ノ爲水發發艦ノ際旋風ニ依リ再ビ破損飛行機使用不能トナレリ
- (2) *Wellington* 及 *Auckland* ハ潛航偵察ヲ實施セントス
- (3) *Cock* 海峽附近ニ商船ノ往來頻繁ナリ
- (四) 右ニ依リ爾後飛行偵察不能ナリト思惟シ居リタル處翌八日左ノ通  
*Wellington* ノ飛行偵察報告ニ接シ對敵行動中艦員ノ異常ノ努力ニ依リ飛行機ノ修理ニ成功セルヲ知レリ
- (1) 在泊艦ナシ
- (2) 中型商船二隻碇泊中
- (3) 米國籍一〇〇〇噸級油槽船一隻入港セントシツツアリ
- (4) 燈火管制ヲ行ハズ燈臺ハ點燈シアリ

- (5) 灣口ハ探照燈固定照射シアリ
  - (6) 飛行機ハ辛ジテ使用可能ナル程度ニ假修理ヲ行ヒタリ
- 三月十三日〇二〇〇更ニ  
ノ飛行偵察ヲ行ヒ次ノ報告アリ
- (1) 在泊艦ナシ

- (2) 中型及小型商船四隻碇泊中
- (3) 港口ヲ探照燈ニテ固定照射シアリ
- (4) 燈火管制ヲ行ハズ燈臺ハ點燈シアリ
- (5) 十二日一四三〇ヨリ約一時間 灣ニ於テ潛航中近距離ヨリ探知  
サレタリ

港 港順ニ偵察ヲ行ヒ「ト」ラツクニ於テ補給ノ上四月五日  
頃歸投ノ豫定ナリ

#### 第四 K 作 戦

潜水艦ヲ以テスル對飛行艇燃料補給ニ依リ飛行艇ノ航續力ヲ延長シ遠  
距離ノ攻撃偵察ノ實施ニ就テハ豫テ中央及司令部ニ於テ計畫アリタ

ル處二月上旬之ガ實施ニ適スル二式飛行艇ノ一部完成ヲ見<sup>24Sf</sup>ニ二機配  
 屬セシメラルルコトナリ三月上旬實施ヲ目途トシ一月中旬以來之ガ  
 準備ニ着手シ三月四日第一回ノ攻撃ヲ實施セリ之ガ主ナル經過左ノ通  
 一作戰準備

(イ) 當隊戰鬪詳報第一號所載ノ通中央<sup>GF</sup>司令部トノ折衝アリ二月一日

「マレシヤル」方面ニ來襲セル敵機動部隊ヲ索敵中ナリシ<sup>15</sup>イ<sup>19</sup>イ<sup>26</sup>

ハ始メ<sup>125</sup>ノ豫定ナリシモ飛行機ヲ搭載セザル<sup>126</sup>ニ變更ハ三日〇

八〇〇反轉「クエジエリン」ニ歸投セシメ爾後同地ニ於テ派遣工

員ノ手ニ依リ航空燃料搭載工事ヲ促進二月十四日之ヲ完了セリ

(ロ) 之ヨリ先本作戰ハ<sup>6F</sup>司令<sup>4F</sup>部<sup>4F</sup>ノ共同作戰トナル關係上作戰計畫ノ打合ヲ

行フ要アリ豫テ<sup>4F</sup>司令<sup>4F</sup>部<sup>4F</sup>職員ノ來集ヲ求メアリタル所<sup>4F</sup>幕僚及中

央ト打合セヲ行ヒ「ルオット」ニ歸着セル<sup>24Sf</sup>幕僚八日「クエジエ

リン」香取ニ集合、作戰ニ關スル打合セヲ行ヒ<sup>6F</sup>司令<sup>4F</sup>部<sup>4F</sup>兩司令部ノ作

戰協定ヲ作製セリ(別紙<sup>6F</sup>司令<sup>4F</sup>部<sup>4F</sup>協定覺參照)

(ハ)斯クテ二月上旬十三試(二式)大艇「マーシャル」方面移動時及  
 來着後補給潜水艦トノ間ニ聯合ノ訓練ヲ實施スルニ不安ナキ程度ニ  
 到達セリ(二月十九日「クエジエリン」着)

(ニ)補給地タル「フレンドフリート」ノ偵察ニ關シテハ 3Sg 司令所報

ハ122 偵察)ノ通ニシテ補給可能ナリト認メアリ  
 又19ヲシテ眞珠港ノ飛行偵察ヲ行ハシム

二、作戰實施經過

4F 司令長官ハ本作戰實施ニ關シ左ノ通發令

4F 機密第七九一發電(十七日二一二〇)

南洋部隊電令作第九一號

(イ)作戰方針

24Sf 司令官ハ飛行艇隊ヲ以テ第一潜水部隊(一部缺)ト協同  
 ノ空襲ヲ決行敵ノ復舊作業ヲ阻止スベシ  
*Rabu* 島

(ロ)作戰要領



(一) 第一次攻撃期日 (P日) ヲ三月二日ト豫定ス

第二次攻撃期日 (Q日) ヲ特令ヲケレバ三月七日ト豫定ス

(二) 使用兵力二式大艇 二機

(三) 攻撃目標 海軍工廠

(四) 基地「マーシャル」方面 <sup>24Sf</sup> 司令官所定

(五) 行動概要及通信並ニ協同要領

第四第六艦隊間「K作戦」ニ關スル打合覺

(6F機密第二號ノ一三)ノ通

(六) 「マーシャル」所在部隊ハ本作戦ニ關シ <sup>24Sf</sup> 司令官ニ協力セヨ

(ハ) <sup>24Sf</sup> 司令官及 <sup>6Bg</sup> 司令官ハ本作戦中協議ノ上所要ノ警戒艦 (一機) ヲ派遣

スベシ

(ニ) ハ「K作戦」ニ關スル打合覺ニ依リ本作戦ニ協カス

(ホ) <sup>24Sf</sup> 司令官ハ敵情並ニ氣象情況ニ依リ攻撃期日ヲ變更スルコトヲ得

此ノ場合所要ノ向ニ報告ハ通報) スベシ

記發令

一方補給潜水艦ニハBB電令作第四一號(十五日一二〇〇)ヲ以テ左

(イ) 1SsB (イ17イ25 缺)ハ6F機密第九九二番電及第九九四番電ニ依リK作戰

ヲ實施スベシ

(ロ) 本作戰中2Sg司令ハ「フレンチフリゲート」ニ對スル對飛行艇補給

ニ關シ關係潜水艦ノ指揮ニ任ズベシ

(ハ) 本作戰終了後ノ行動ハ別令ス

斯クテ補給潜水艦ハ二月二十一日「クエジエリン」發「フレンチフ

リゲート」ニ進出豫定ナリシ所偶々二月二十日「ラポール」ノ北東

六〇〇哩附近ニ有力ナル敵機動部隊ヲ發見 2Sg (イ17 缺) 及イ26ハ二十日

一五〇〇「クエジエリン」出撃此ノ敵ニ向ヒ散開線ヲ以テ掃航ス

依テ同日一八三〇同部隊ニ對シK作戰ノ豫定ニ不拘極力當面ノ敵ヲ

擊滅スルニ努ムベキヲ發令セリ

然ルニ其ノ後敵情ニ關シ何等得ル處ナク翌二十一日 1Ss 司令官ヨリイ15

116  
126  
ハ速ニ布哇諸島方面ニ進出セシメラルヲ可ト認ムル旨意見具  
申アリ 同日夜半敵ガ「マーシャル」諸島ヲ南西方ヨリ奇襲ヲ企圖  
スルコトアルベキニ備ヘ之ニ應ズル如キ配備ヲ令シタルモ之亦何等  
得ル處ナク二十二日一五三〇ニ至リ「ヤルット」ノ南方ヲ經テ「マ  
ーシャル」諸島東方海面ヲ搜索シツツ作戦ノ豫定ニ應ズル如ク行  
動スベキヲ發令セリ

斯クスル内三月二日（P日）ノ攻撃ハ實施困難トナリ三月四日實施  
スルコトトナリ夫々配備ニ就ケリ

右實施ハ計畫通り順調ニ經過シ先ツ當夜奇襲成功ノ電報ヲ接受六  
日ニ至リ更ニ濱空司令ヨリ詳報ニ接ス

尙本作戦ノ成果ニ關シテハ確實ナル資料ナキモ外國側ノ放送ニ依レ  
バ爆彈ハ海兵隊兵舍附近ニ命中死傷約一〇〇名ヲ生ジタリト

第一回ノ襲撃ニ於テ飛行艦一機ハ三號艇「フレンチフリゲート」ニ  
テ舟底ニ破口ヲ生ジ之ガ修理ト次回攻撃時機ノ月齡等ノ關係上二次

攻撃ハ取止メノコトトナレリ

第五 米西岸ニ於ケル要地攻撃交通破壊

襲ニイラシテ米西岸ニ派遣奇襲交通破壊並ニ指揮官ノ所信ニ依リ要地  
軍事施設ノ砲撃ヲ命ジアリタル處二月下旬米西岸着三月上旬同地發歸  
途ニ就ケリ此ノ間ニ擧ゲタル戦果並ニ敵ノ警戒状況等ニ就キ左ノ通報  
告シ來レリ

一、戦果

(イ) 二月二十四日一〇〇「エルウッド」漁田軍事施設ヲ砲撃相當ノ  
効果アリシモノト認ム

(ロ) 三月一日一四〇〇桑港沖ニ於テ給油船(約一万噸)撃沈

(ハ) 三月二日一三〇〇 *Handover* 岬沖ニ於テ貨物船(約七〇〇〇噸)一隻ヲ  
撃沈ス

二、警戒状況

(イ) 沿岸三〇〇選以上哨戒機ヲ認メズ

- (イ) 晝間飛行機飛行船ニ依ル沿岸警戒嚴重ナリ
  - (ロ) 飛行機飛行船ヲ伴フ同船ヲシキモノニ會セシコトアリ
  - (ハ) 夜間沿岸四〇哩附近ヲ警戒艇(約三〇〇噸)ノ移動哨戒セルニ會フ(三四)視認困難ナリ
  - (ニ) 月夜ト雖モ夜間飛行哨戒ヲ行ハズ
  - (ホ) 桑港ヲ出入スルモノ以外沿岸航路上大型汽船ヲ認ムルコト稀ナリ
  - (ヘ) 主要燈臺ハ南方諸島ノ外消燈シアラズ
  - (フ) 電波發射ノ翌日哨戒艇ノ追跡ヲ受ケタル疑アリ(二回)
- 三、天候不良ノ場合風速一五米波浪六長浪二乃至五南風ハ必ず濃氣ヲ伴フ
- 四、三月十二日一二三〇桑港沖發横須賀ニ向フ燃料保有量三五〇噸

#### 第六 旗艦奪取ノ行動

#### 一 行動概要

開戦以來引續キ「クエシエリン」ニ在泊麾下BBノ指揮通信中樞ニ任

ジアリタルガ大部ノ潜水艦内地ヲ基地トシテ主トシテ整備並ニ訓練  
 ニ從事スルコトトナリ依テ二月八日通信ノ中樞ハ第六通信隊香取ニ  
 代リ之ヲ實施スルコトトシ同九日並十六日横須賀ニ歸港被害箇所ノ  
 修理次回出勤準備ヲ行ヒツツ作戰部隊ノ指揮ニ任ゼリ

二、所 見

香取横須賀入港後特ニ入渠中及修理工事中ハ通信不如意ニシテ戰術  
 場面ニ於ケル作戰指導殆ド不可能ナリ

(終)

090T

185



第六艦隊機密第二三號ノ五一

昭和十七年五月二十日

先遣部隊戦闘詳報 第五號

第六艦隊司令部



作 戰

自三月十一日 大鳥島北方ニ出現セル（通信牒報）敵機動部隊ニ對スル作戰  
至三月十八日

一、形 勢

(1) 一般情勢

(1) 至三月三日敵機動部隊ハ南鳥島ヲ空襲シ爾後附近所在部隊ヲ以テ極力搜索ニ努メタルモ遂ニ敵情ヲ得ズ

然ルニ三月十一日〇一〇〇CB指揮官ヨリ敵機動部隊ラシキモノノ十日一八三〇ノ位置北緯二八度東經一六四度（誤差稍アル見込）トノ無線方位ニ依ル情報アリ之ニ基キGF長官ハ同日一三四〇「對米艦隊作戰第三報」攻撃目標、十日大鳥島ノ北方ニ出現ノ敵 KdB ヲ發令セラレ敵 KdB ノ東京小笠原方面來襲ニ備フルコトトナレリ

1901



二、經

過

(一) 右ノ外二月一日「マーシャル」方面二月二十四日大鳥島三月三日南鳥島ノ空襲アリ

(二) 先遣部隊ノ情況

(一) 1Sg (イ17イ25) 缺 - ハE作戰終了後三日南鳥島ヲ空襲セル敵機動部隊ヲ搜索シツツ横須賀ヘノ歸途ニ在リ

(二) 2Sg ハ南方部隊ニ編入表南洋方面ニ作戰中

(三) 3Sg ハ吳ヘ一部横須賀ニ在リテ修理並ニ整備作業中

(四) 三月十日附當艦隊ニ編入セラレタル 8Sg ハ吳ニ於テ整備作業中ナル處一部至急出動シ得ル情況ニ在リ

(五) 三月十一日二二〇〇GF長官ヨリ 6Sg ヲ作戰ニ關シ一時先遣部隊指揮官ノ指揮下ニ入ル旨發令セラル (十三日〇六〇〇接受)

以上ヲ綜合シ敵機動部隊ニ對シ作戰行動ヲ執リ得ル兵力ハ 1Sg

イ17イ25 缺 - 8Sg ノ一部及 6Sg ナリ

三月十一日CB指揮官ヨリ敵機動部隊ヲシキモノノ無線牒報ヲ得ルヤ  
前述ノ通GF長官ハ

一、對米艦隊作戰第三法、攻撃目標十日大島島ノ北方ニ出現ノ敵機動  
部隊

二、5Sf (艦缺) 陽炎艦ヲ一時警戒部隊ニ編入警戒部隊ハ適時出撃スベ  
シ

トノ電令ヲ發ス

依テ十一日一八三〇BB機密第一四八番電ヲ以テ左記發令

BB電令作第三二號

發 BB指揮官 宛

8Ss 司令官

通報

GB1Ss 司令官、GF 5F 各長官、總長  
指揮官、機密長官、司令

敵ノ通信其他諸情況ヲ綜合スルニ敵 KdB ハ内南洋方面ニ策動スルト

共ニ東京又ハ父島方面ノ奇襲ヲ企圖シツツアルノ象大ナリ

(四) 8Sg 司令官ハ110 121 129 130 (ハ) 14Sg 司令ヲシテ指揮セシム(ヲ)シテ準備出來  
次第出望セシメ概ネ左ノ配備ニ依リ東京方面ニ對スル敵ノ出現ニ

備フベシ

犬吠崎ノ東方三〇〇哩附近ヨリ東京ニ掃航機ヲ同七〇〇哩附近ニ

於テ哨戒

(イ) 本部隊ノ通信ニ關シ左ノ通定ム

(ハ) 使用電波五六三五KC (タン五一) 香取中樞航空機通信(タヒ六)

搭載艦擔當

(ニ) 本部隊ノ呼出符號(ハ)メス五(BB)特殊交信略符「ツレ」トス

三月十二日一四二〇 CB 指揮官ヨリ 6F 參謀長宛

CB 機密第一八六番電(一)二日一二〇〇(ヲ)以テ左ノ要求アリ

(一) 6F 電令作第九一號ニ關シ差支ナケレバ貴隊適宜ノ隊ヲシテ電波四

二六五KC (敵) KdB 使用電波(ノ)方位測定實施方取計ヲ得度

右要求ニ對シ 1SgB 及 110 121 129 130 ニ方位測定ノ實施ヲ發令ス(十二日一五

二〇一

其後敵機動部隊ヲシテ電波ノ方位線ヲ數本得タル<sup>何レモ</sup>單獨測定ニテ適確ナル資料ヲ得ルニ至ラズ

十三日〇九〇〇各部隊ノ哨戒要領ニ關シ左ノ通發令

一、各隊左ノ散開線ニ於テ哨戒セヨ

(イ) 110 121 129 130 14Sg 司令指揮ハ地點ワネミヨリ地點カノロニ

至ル線ヲ經テ地點ヲモヨヨリ地點ワシフニ至ル線ハL散

開線ニ就ケ

(ロ) 119 115 119 126 ハ地點カレルヨリ地點ヨフナニ至ル線ハM散開

線ニ至セバ止

(ハ) 6Sg ハ地點ワユイヨヨリ地點方ノニニ至ル線ハM散開線ニ

就ケ

二、右部隊ヲ哨戒潛水部隊ハ呼出符號「トア」「ヤカ六」ト呼稱

ス 1Sg 司令官之ヲ指揮スベシ

斯クテ極力敵機動部隊ノ搜索ニ努メタルモ遂ニ敵情ニ關シ得ル處ナ

ク十六日一五〇〇哨戒潜水部隊ニ對シ左記發令

敵情ヲ得ザレバ哨戒潜水部隊ハ指揮官所定ニ依リ敵潜水艦ヲ掃蕩

シツツイ10イ121イ130ハ十七日〇六〇〇L散開線發吳ニ、イ115イ119イ126ハ十

八日〇六〇〇M及N散開線發橫須賀及吳ニ歸投スベシ

右行動中亦何等敵情ヲ得ズ各隊夫々所定軍港ニ歸投セリ

三、敵軍ノ損害

ナシ

四、我軍ノ損害並ニ現狀

損害ナシ各潜水艦所定軍港ニ歸投異常ナシ

戰訓

三月十日通信上ニ現ハレタル敵機動部隊ニ關シテハ前記一般情勢ノ通  
ニシテ根據ハ敵機動部隊ラシキモノ、稍不確實ナルモノアリ

斯ル情況ニ於テ整備中ノ潜水艦ヲ急速出動セシムルハ

(イ) 整備作業ニ支障ヲ生ジ恣イテハ次期作戦ニ於テ整備不徹底ノ爲故障艦、被害艦ヲ生ズル因ヲナス虞アル一方豫定作戦ニ應ジ得ザル場合モ亦起リ得ベシ

(ロ) 敵機動部隊ニ對スル作戦殊ニ整備作業中急速出動セシメタル今回ノ如キ場合ハ潜水艦ノ機動力大ナラザル關係上時機ヲ失シ徒ニ敵捕捉ノ算少キ海面ヲ馳驅シテ時間ト燃料ヲ空費スルノ結果ヲ招來スルノ算一般ニ大ナリト認フベシ

右ノ理由ニ依リ整備作業中ノ潜水艦ヲ出動セシムベキヤ否ヤノ根拠トナルベキ情報ニ關シテハ其ノ出所確度等ニ就キ特ニ慎重吟味ノ要アリト認ム

(一終)

第六艦隊戦時日誌

第六艦隊機密第三號ノ六三  
自昭和十七年六月一日  
至昭和十七年六月三十日

第六艦隊司令部  
旗艦香取部



目次

- 一 経過
  - (一) 一般情勢
  - (二) 敵軍情勢
  - (三) 任務編制配備
  - (四) 作戦指導
- 二 人員
  - (一) 司令部職員
  - (二) 麾下総人員
- 三 命令達報告等
- 四 参考
  - (一) 麾下艦船ノ行動
- 五 作戦経過ノ概要

終



自昭和十七年六月一日第六艦隊戰時日誌  
至昭和十七年六月三日

一 経過

二 一般情勢

六月旬 AF 作戰 AL 作戰開始セラレ MI 作戰ニハ SS 大部及 SS AL 作戰ニハ SS SS 参加ス

東方先遣支隊ハ主トシテ濠洲東岸及新西蘭方面行動シ敵艦船ノ奇襲通商破壊ニ任ズ

甲先遣支隊ハ引續キ南向印度洋方面ニ行動敵艦船ノ奇襲通商破壊ニ任ズ

三 敵軍情勢

MI 作戰開始セララルヤ 敵潜ハ主トシテ AF 近海ニ集中セシガ如ク本邦近海ニ出現スルモノ一時減少セシモ MI 作戰終了

スルヤ再々本邦近海南方海面ニ出現スルニ至ル  
 四月二十七日敵機約七機大島島ニ来襲ス



3SS	2SS	1SS	直率	戦隊	(四)艦隊編制 (六月一日) 潜水艦
靖國丸	志士丸	平安丸	香取	軍艦	
11SG	7SG	2SG		隊名	
1 1 一七五 一七四	1 1 1 三二一	1 1 1 一九七五		艦名	
12SG	8SG	4SG		隊名	
1 1 1 1 一七一六六 二一九八	1 1 1 六五四	1 1 二二六五		艦名	
		15SG		隊名	
1 一一	1 七	1 1 1 三三三 三二一		艦名	
				隊名	
		1 九		艦名	

(印指揮官、指揮下ニ在ル部隊) 第七報道班 第十写真班 第五雷用艇便所	屬			附		直率	855
	第六補欠班	給兵新玉丸	給油富玉丸	給油隱戸	日枝丸		
香取ニ置ク 准士官以上 下士官兵八 19 准士官以上 下士官兵一九 21 准士官以上 下士官兵三三 34 准士官以上 下士官兵三五 25 准士官以上 下士官兵一二 12	第一補欠班 (平安丸)	第二補欠班 (芝人上丸)	第三補欠班 (清國丸)	第四補欠班 (香取)	第五補欠班 (日枝丸)	1359	159
	1	1	1	1	1	1	1
	2	1	1	1	1	1	1
	3	0	8	6	359	1	1
	4	1	1	1	1	1	1
	5	2	2	2	1459	1	1
	6	4	2	1	1	1	1
7	0	9	8	7	1	0	
8	1	1	1	1	1	1	
9	0	1	1	1	1	1	
10	1	1	1	1	1	1	
11	1	1	1	1	1	1	
12	1	1	1	1	1	1	
13	1	1	1	1	1	1	
14	1	1	1	1	1	1	
15	1	1	1	1	1	1	
16	1	1	1	1	1	1	
17	1	1	1	1	1	1	
18	1	1	1	1	1	1	
19	1	1	1	1	1	1	
20	1	1	1	1	1	1	
21	1	1	1	1	1	1	
22	1	1	1	1	1	1	
23	1	1	1	1	1	1	
24	1	1	1	1	1	1	
25	1	1	1	1	1	1	
26	1	1	1	1	1	1	
27	1	1	1	1	1	1	
28	1	1	1	1	1	1	
29	1	1	1	1	1	1	
30	1	1	1	1	1	1	
31	1	1	1	1	1	1	
32	1	1	1	1	1	1	
33	1	1	1	1	1	1	
34	1	1	1	1	1	1	
35	1	1	1	1	1	1	
36	1	1	1	1	1	1	
37	1	1	1	1	1	1	
38	1	1	1	1	1	1	
39	1	1	1	1	1	1	
40	1	1	1	1	1	1	
41	1	1	1	1	1	1	
42	1	1	1	1	1	1	
43	1	1	1	1	1	1	
44	1	1	1	1	1	1	
45	1	1	1	1	1	1	
46	1	1	1	1	1	1	
47	1	1	1	1	1	1	
48	1	1	1	1	1	1	
49	1	1	1	1	1	1	
50	1	1	1	1	1	1	

記事	附 屬		SSS	戦 隊		
	工 作	給 糧		軍 艦		
一 六月十日伊33潜 一 六月十六日伊28潜 1559 = 編入 帝國潜水艦籍ヨリ除カル	浦上丸	第三号 天洋丸	愛國丸	報國丸	リ カ ゴ ジ マ 丸	
					1959	潜 隊名
					1 1 1 1 一 一 一 一 五 五 五 五 九 八 七 六	艦 名
					3059	水 隊名
					1 1 1 1 一 一 一 一 六 六 六 六 六 五 四 二	艦 名
		1 八	艦 名			
	GF 附 屬 ↓ 印 附 屬	GF 附 屬 ↓ 時 印 指 揮	GF 附 屬 ↓ 印 指 揮	備 考		

四 作戰指導

(1) MI 作戰

聯合艦隊命令作第一四號ニ基キ畜隊ノ作戰配備ヲ左

如ク発令ス

EB 電令作第七六號(五月二十日一四〇〇)

3SSB (1172 隻) 5SSB 1399 ハ左ニ依リ MI 作戰ニ任ズベシ

3SSB (1168 隻) ハ NS 日迄ニ( K 作戰協力潜水艦ハ之ガ任務終了後

甲散開線(地真ヘロ又〇〇ヨリ地真ヘロホ引)ニ 5SSB ハ爲シ得ル限リ速

ナル期日ニ乙散開線(地真ホキヨリ地真ヘンセ〇〇)ニ就キ敵

艦船ノ邀撃奇襲ニ任ジ攻零部隊ノ作戰ニ協カス

1399 ハ K 作戰終了後ニ隻ハ「フレニチ「フレイト「シヨル」一隻ハ「ライサン

島附近ニ在リテ味方飛行艇又ハ水偵ノ補給ニ任ズ

1168 ハ修理完成次第吳発 NS 日迄ニ「キニア」島及「ミドウ」島

偵察シタル後「ミッドウェイ」東方ニ機宜行動シテ天候偵察ス  
敵艦隊ニ對スル奇襲ニ任ズ

天候偵察ノ要領ハ電令作第七四號ニ依ル

SSB (17日以後) 及 3SSB 5SSB ハ「ミッドウェイ」攻畧後特令ニ依リ防備概

成迄同地ヲ基地トシテ敵ノ機動(奪回)部隊ノ捕捉攻撃

ニ任ズ 之ガ配備ニ行動ハ後令ス

然ルニ六月五日午前兩軍會戦シ敵機動部隊「ミッドウェイ」

北方ニ伏在スルノ情況判明シ命ニ依リ同日午後 3SSB 5SSB ハ丙散開

線ニ又當時ト作戰ヲ為配備シタル 13Sg ノニ艦ヲ「フレッチャー」

トシヨール」ノ北方ニ散開線(一艦ヲ「ライサン」島ノ北

方約六。哩ニ移動セシム同日早朝未ダノ戰況ニ依リ「ミッドウェイ」

攻畧ヲ一日延期ノ旨電令アリ 次テ同日午後先遣部隊

ハ速ニ東方ニ避退中、敵艦隊ヲ捕捉攻撃スベキノ命ニ依リ



潜水艦ノ大半丙散開線ニ就キタル六日午後 3SSB 5SSB ヲ西方ニ進  
 撃セシムルト共ニ列島線南方ニモ備フル要アルヲ認メ 1359 ヲコ  
 ンチフリーゲートレールノ西方約ニ。運(B散開線)ニ移動ス  
 七月敵航空母艦我損傷艦ヲ追躡攻撃セル情況ニ對シ  
 先遣部隊ハ急速西方ニ進撃(晝間)潜航進撃セシメ 5SSB 3SSB  
 ハ九日夜 1359 ハ土日午後乃至土日夜 夫々 180°E 線上下 R<sub>2</sub> R<sub>1</sub> 散  
 開線(地桌トアワヨリ地桌ヘアエ00)ヲ一八〇度方向ニ知移動  
 S(地桌ヘアエ00ヨリ地桌ヘアス00)丁(地桌ヘアリ00ヨリ地桌ヘス00)  
 散開線ニ着待機無線交信利用ニ依ル我が索敵部  
 隊ノ行動ニ策應シテ敵捕捉ニ努メタルモ十三日敵機動  
 部隊ノ大部ヲミッドウエー東方附近ニ行動スルモト認メラ  
 ル情報ニ依リ 3SSB 5SSB ヲ東方ニ掃航西経一七三度線迄索敵  
 セシメタルモ得ル所ナシ



各隊行動力ノ關係上158ハ十三日爾余ノ艦ハ十五日配備ヲ撤シ  
 基地ニ販投セシム此ノ間158ヲレテ「ミッドウエー」ノ偵察ヲ行ハシタル  
 後同地附近ニ於テ我が機動部隊ノ作戰ニ資スル為天候  
 通報ニ任ゼシム其ノ後同艦ハ五日夜命ニ依リ「ミッドウエー」ニ飛  
 行基地ヲ砲撃發射彈數六全彈命中  
 爾後「ミッドウエー」附近ニ於テ敵情監視ニ任ゼアリタル處命  
 ニ依リ六日「ミッドウエー」北方約一五〇哩ニ漂流中敵損傷航  
 空母艦攻撃ニ向ハシム同艦ハ七日午前豫想地矣ニ於テ  
 驅逐艦七隻ニ護衛セラレタル敵航空母艦ヲ発見雷撃  
 之ヲ撃手沈セリ  
 其ノ後敵驅逐艦ノ猛烈ニ爆雷攻撃ニ依リ主蓄電池大半  
 使用不能前後發射管漏水之ガ修理為吳ニ回航セシム  
 尚損傷後ノ飛龍漂流シタル場合之ヲ處分セシム為十日

ニ東方先遣支隊ハ在ニ依リ基地ニ歸投スベシ  
 六月二十日迄ニトシテ(255)対シテ行動方面ノ申述實施  
 後ク重リシニ同航ノ爾餘ノ艦六月二十五日迄ニクエシリン

Brisbane 129  
 Sydney 121 124  
 Melbourne 127  
 New Zealand 122 (爲シ得ルニ)  
 Wellington 潜航偵察ヲ實施スベシ

先遣部隊電令作第八〇號(五月三日ニニ〇〇)  
 シンドニー攻撃後各艦概シテ方面ニ於テ敵艦船ニ對スル  
 奇襲交通破壊ヲ實施スベシ

日没後十日迄 SSB潜水艦三隻ヲシテ  
 31°-26'N 32°-40'N  
 178°-0'W 178°-0'E  
 各經緯度線ヲ  
 シテ包マレタル海面ヲ搜索セシメタルモ之ヲ発見セズ

東方先遣支隊ノ作戰  
 シンドニー攻撃後左記ニ依リ行動セシム

(2) 各艦ノ行動

(1) 伊21 伊24

Sydney 沖方面

行動海面ヲ Sydney 角ズル 70° 線以北 同以南 伊24トス

12/11 日夜 駆逐艦又ハ哨戒艇ニ隻ヲ配シタル高船四隻

ヨリ成ル輸送船團ヲ発見其ノ二隻ヲ雷撃手内ニ萬七級

一隻ヲ撃手沈ス 又同日大型油槽船一隻ヲ雷撃手(雷数一

水面航走) 効果ナシ

伊24 遭遇セル船舶六隻中 一万七級油槽船及五千七級

貨物船一隻 砲撃火災ヲ生ゼシム

(11) 伊27 沖方面

主トシ Melbourne テバス海峡東方海面ニ於テ行動ス

三日 敵駆逐艦(又ハ中型巡洋艦ナルヤモ知レズ) 一隻北上

スルヲ 認メタルモ 襲撃手ノ機ヲ得ス

四百一十噸級貨物船一隻雷撃手(雷敷一途中自爆)効果ナシ

(iii) 伊22 新西蘭方面

十日ホートランド島附近ニ於テ小型貨物船ヲ雷撃手トモ  
乞水浅ク効果ナシ 新西蘭方面船舶ノ交通少シ

Wellington 情况

灯台赤灯モ陸夫灯火管制ニ探照灯ヲ以テ終ニ夜湾

ロヲ水平照射セル外時々上空ヲ照射ス

八日陸上機一機湾口南方ヲ哨戒スルヲ認ム

(iv) 伊29 方面

四日以来監視敵船舶捕捉ニ努メタルモ同方面一切

敵影ヲ見ズ十日発 Numea 沖ニ移動ス

(3) 六月三日 先遣部隊 艦令作 第八二號ヲ以テ 伊21 伊24

ハ機ヲ見テ Sydney Newcastle 砲撃ヲ實見施スベキ旨ヲ發令ス

(1) 伊24 潜

七日二三一一 Sydney 軍事施設ヲ砲撃

發射 彈數一。射撃時間四分

効果不明ナルモ發砲後間モテ敵ハ探照灯ヲ照射シ

灯火管制及灯台消燈ヲ行ハリ

(1) 伊21 潜

八月二一。Newcastle 所造船所及飛行場及要塞ヲ

砲撃 發射 彈數三四(通常彈二六 照明彈八)

射撃時間十六分 射撃目標ハ直接照準レ得ガ

リレモ探照灯及灯台等ノ間接目標ヲ得豫期以上ノ射

撃効果ヲ擧ゲ得タルモト認ム

発砲後十三分ニシテ「ビー」岬砲台より反撃ヲ受ケ退ス

(4) 六月中旬各艦ハ各作戰海面発索敵レツ北上「ニコレド」

及「ニートヘブライス」諸島東方海面ヲ通過六月二十五日クニシテ

ニ販投ス(21)「トラス」經由クニシテ「販着」豫定ノ所ニ行

動ノ変更ニ付ヒクニシテニ直航セシム

(ハ) 甲先遣支隊ノ作戰

南阿印度洋方面ニ於テ引継キ敵艦船ノ奇襲ヲ通商

破壊ヲ實施ス

(イ) 15s 25s 北方部隊ニ編入ケレ北方作戰ニ従事ス

二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	月日
←																				香取
← ノリエジエク →																				隠戸
← ノリエジエク →																				富山丸
← ノリエジエク →																				新玉丸
← ノリエジエク →																				天洋丸
← ノリエジエク →																				浦上丸
← ノリエジエク →																				報国丸
← ノリエジエク →																				愛国丸
																				記事

四参考  
 (一) 麾下艦船行動(香取其他)

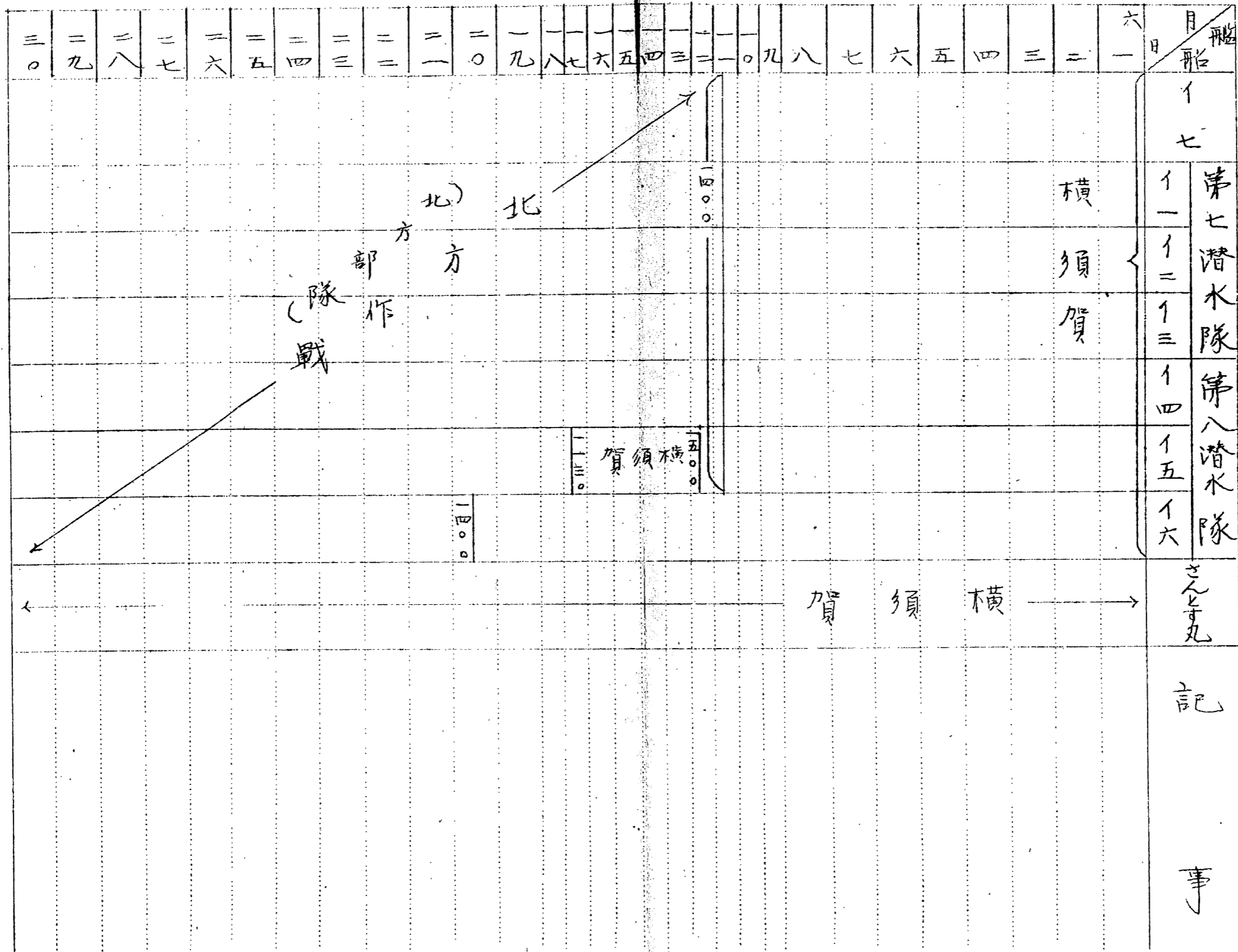
北 部 隊 指 揮 官 の 指 揮 承 担

印度洋方面作戦



		三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	六日	月	船
海	船																										イ一五	第一潜水隊	(一) 麾下艦船行動 (第一潜水部隊)					
																											イ一七	第二潜水隊						
																									イ一九	第四潜水隊								
																									イ二五	第十五潜水隊								
																									イ二六	第十五潜水隊								
																									イ三一	第十五潜水隊								
																									イ三二	第十五潜水隊								
																									イ三三	第十五潜水隊								
																									二八〇	平安丸								
																									二八〇	記								
																									二八〇	事								

(隊部方北) 地戦作 AL  
 (隊部方北) 視監ルトヤシ  
 呉  
 神  
 横須賀  
 伊予 潜水 1589 編入  
 新原 洲東 地方 戦地 方面



(一) 麾下艦艇、行動(第二潜水部隊)

艦  
第一艦  
第七潜水隊  
第八潜水隊  
横須賀  
記  
事

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	六日	月	艦
← ソリエジエク →											← 吳 →											イ	一	一	第 十 潜 水 隊							
← ソリエジエク →											← 吳 →											イ	一	七		第 十 潜 水 隊						
← ソリエジエク →											← 吳 →											イ	一	七			五					
(修理大)保世佐											← 吳 →											イ	一	六		第 十 二 潜 水 隊						
← ソリエジエク →											← 吳 →											イ	一	六			九					
← ソリエジエク →											← 吳 →											イ	一	七			二					
											(備整理修) 吳											イ	一	七		三	靖 回 丸					
← ソリエジエク →											← 吳 →											イ	一	七	三							
																← ソリエジエク →										記		事				
																← ソリエジエク →																

(一) 麾下艦船行動(第三潜水部隊)





